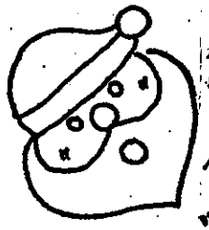
LaLaLa Library

2023年
12月号



図書委員会広報班

寒さが身にしみる季節になりました。いかがお過ごしでしょうか。これからきびしい寒さが続きますが、図書室で読書をして寒さを乗り切りましょう。そこで私達図書委員からオススメの本を紹介します。ぜひ手に取ってみてください。

『孤島の鬼』 江戸川乱歩

主人公蓑浦金之助は会社の同僚木崎初代と熱烈な恋に陥る。彼女は捨てられた子で先祖の系図帳を持っていたが、先祖がどこの誰ともわからない。ある夜、初代は完全に戸締まりをした自宅で、何者かに心臓を刺され殺されてしまう。恋人を奪われてしまった蓑浦は、犯人を突き止めようと、友人であり自称探偵の深山木幸吉に相談をする。ここから事件の真相が明らかになっていくそんな過程を緊張感を味わいながら楽しむことができる小説です。またわかりやすいけど複雑な文章もあるので1度だけでなく読み返すと見逃した部分を見つけられて面白いのでオススメします。

『我らが隣人の犯罪』宮部みゆき

僕は三田村誠。中学一年。父と母、そして妹の智子の四人家族だ。僕たちは念願のタウンハウスに引越したのだが、隣家の女性が室内で飼っているスピッツ・ミリーの鳴き声に終日悩まされることになった。僕と智子は家によく遊びに来る殺彦おじさんと組み、ミリーを〝誘拐〟したのだが……。

この本は全部で五つのお話からなる短編小説です。どの話も予想外の結末でとてもおもしろいです。一話一話が短いので、読書が苦手な人や普段本を読まない人にもおすすめの本です。朝や帰りの通学時間に本を読みたいと思っている人は、読みやすいのでぜひ読んでみて下さい。

『ハリーポッターと賢者の石』 J・K・ローリング

少年ハリー・ポッターはおじ、おばに育てられ同じ年のいとこにいじめられながら生活していた。そんなハリーの11歳の誕生日を迎える日、突然手紙が届く。それは魔法学校への入学許可証だった。ここからはじまる冒険の物語。友情や感動、恋愛要素もあるファンタジーアドベンチャーなこの小説をぜひ読んでみてください。小説と映画でも異なる部分もあるので映画は観たことがあるという人もぜひ読んでみてください。